



WEEKLY REPORT

Rotary 東京立川ロータリークラブ 2019.7.19 第2847回 例会

2019～2020年度 RIテーマ



2019～2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

2019～2020年度 クラブテーマ

Restart!

創立60周年 第2ステージの始まり
2019-2020

東京立川ロータリークラブ
会長 長井 守



【会長挨拶】 長井 守 会長

先週は五大奉仕委員会の職業奉仕松浦委員長、社会奉仕田中委員長、に基本方針・事業計画を発表して頂き有難うございました。本日は国際奉仕織原委員長、青少年奉仕小松委員長、クラブ奉仕益子委員長の発表がございまして、後程宜しくお願致します。

さて、今年度は創立60周年を迎えます。もう一度原点に立ち戻りその事業の必要性や今後の在り方を再考しようという事で、「Restart!」～創立60周年第2ステージの始まり～というテーマに致しました。第2ステージが始めるに当たって、すでにご存知の方も多いたとは思いますが、東京立川ロータリークラブの歴史的背景について、改めて振り返ってみたいと思います。

まずは当クラブの結成の経緯について少しお話を致します。1959年12月立川市6代目の桜井三男市長が、アメリカカリフォルニア州のサンバーナディノ市と姉妹市締結し、両市の交流が始まりました。間もなく、立川にロータリークラブ設立の依頼があり、その後サンバーナディノロータリークラブから点鐘の鐘が送られてきたそうです。桜井市長、商工会議所中野喜介会長(中野裕司バスト会長のご祖父・当クラブの初代会長)、藤岡専務理事のご尽力と、東京八王子ロータリークラブ特別代表の新倉源蔵様のご指導のもと、1960年6月27日、東京八王子ロータリークラブをスポンサークラブとして、27名のメンバーで発会致しました。その後、当クラブは1962年3月に東京府中ロータリークラブ、1967年2月に東京東村山ロータリークラブ、1968年1月東京昭島ロータリークラブ、1969年2月に東京国立ロータリークラブ、1972年7月に東京武蔵村山ロータリークラブ、1986年2月に東京立川こぶしロータリークラブの6つのクラブのスポンサーとして、現在に至っております。



長井 守 会長

さて、ここでいよいよ9月20日にラグビーワールドカップが開幕致しますが、ラグビーの試合終了に「ノーサイド」という言葉があります。敵味方の側、つまりサイドがなくなり、両チームの選手が健闘を称えあう、ラグビー精神を象徴する言葉です。しかしこれは日本だけで通用する言葉だそうで、海外では「フルタイム」と称されるそうです。とは言え、その精神は世界共通です。選手たちは、試合が終われば、握手を交わし、肩を抱き合い、紳士のスポーツとして、品格を重んじています。また観客も、敵味方が明確に分かれておらず、それぞれのファンが交じり合って座っています。これも、他のスポーツと異なることでしょう。そして、試合終了後は「アフターマッチファンクション」と呼ばれる懇親会が開かれるのもラグビーの特徴で、両チームの選手たち、スタッフ、審判団や協会関係者達が一堂に会して、飲み物や軽食を取りながら交流を深めます。この精神は、まさにロータリーの精神に酷似するものがあると思えました。

我々が現在に至るまで取り組んできた様々な事業は、会員一人一人の建設的な議論の上であり、その後の懇親会は、さらに親睦を深める為の重要な行事の一つです。ラグビー選手のようなあの鍛え上げた男たちの体には到底なれませんが、ラグーマンの精神を改めて知るに至り、我が立川ロータリークラブの「アフターマッチファンクション」をますます充実したものにしていきましょう。

【お客様の紹介】 長井 守 会長

大蔵健司 様(東京八王子RC 会長)
篠原 定 様(東京府中RC 会長)
山本智治 様(東京東村山RC 会長)

田辺 茂 様(東京八王子RC 幹事)
根守克彰 様(東京府中RC 幹事)
岩原 隆 様(東京東村山RC 幹事)



司会進行
志村和則 委員



ニコニコ発表
安藤永一 副委員長



出席率発表
金原宏和 委員



五大奉仕委員会所信発表
国際奉仕委員会 織原委員長の発表時の様子

【司会進行】

SAA委員会 志村和則 委員

【開会点鐘】 長井 守 会長

【ロータリーソング斉唱】

『それこそロータリー』

【お客様の紹介】 長井 守 会長

【会長挨拶】 長井 守 会長

【お客様のご挨拶】

【幹事報告】 中山賢一 幹事

【ニコニコ発表】

親睦委員会 安藤永一 副委員長

【出席率の発表】

出席委員会 金原宏和 委員

7月19日(金)	会 員 数	114名
	出席 義務 会員	106名
	出席 免除 会員	8名
	当 日 出 席 者	96名
	出席免除会員の当日出席者	4名
	出 席 率	87.27%
	7月5日の出席率	87.04% → 95.37%

【五大奉仕委員会 委員会所信発表】

国際奉仕委員会 織原寛一郎 委員長

青少年奉仕委員会 小松 剛 委員長

クラブ奉仕委員会 益子悦雄 委員長

【閉会点鐘】 長井 守 会長

例会会場:パレスホテル立川(立川市曙町2-40-15)
例会開催日:毎週金曜日 開会点鐘 12:30
会報担当者:杉山正樹 委員
発行者:長井 守

事務局:立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
【HP】http://www.tachikawa-rc.org/
【E-mail】ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp



例会時には必ずバッジをつけましょう

【お客様挨拶】

東京八王子RC 会長 大蔵健司 様

自身の職業分類は仏教で、寺の住職でございます。また幹事は田辺茂で、観光企画・旅行運営会社を運営されています。東京立川RC様には毎年八王子RCを表敬訪問頂き、誠に有難うございます。親クラブとして何も出来ておりませんが、昨年が60周年でありますので創立直後に子クラブを作れるわけでもなく、既にアメリカからゴングも送られてきた所に、近隣クラブが八王子だけであったので、初代新倉源蔵会長が設立のお手伝いをさせて頂いたと聞いております。東京立川RC様は会員数でも出席率でも地区の中ではピカイチのクラブでありますし、更には前年度に100%例会を9度も達成されているという事で、大変羨ましく思います。会員数で負けていても、せめて出席率では上回らなければと反省しております。本年度は60周年を迎えられるという事で、クラブの結束も高まり良いクラブ運営が出来る事を昨年自クラブで感じましたので、是非頑張っただけでいいと思います。また会報にも掲載されている60周年のロゴも会員企業様がデザインされたとの事で、なんと多才な方がクラブにおられるのかと改めて関心致しました。本年度八王子RCは61名スタートで、最高齢は大正10年生まれの97歳ありますが、お二方とも元気に参加されており喜ばしく思います。そして本年度八王子RCのクラブテーマは「友情で奉仕の輪を広げよう」であります。60周年は「友情」をテーマに活動しましたので、本年度はこの友情を持って更に奉仕の輪を広げていこうというテーマとしております。



東京府中RC 会長 篠原 定 様

立川RCには親クラブとして日頃より、ご理解とご協力を頂いております事に改めて御礼申し上げます。そして60周年を迎えられるという事で、改めてお喜び申し上げます。こうしてこの場に立たせて頂きますと、60年の伝統と重みを改めて感じる事が出来ます。私達も来年60周年を迎える事が出来ます。これも貴クラブの支えがあってこそ感じますが、60周年では恥ずかしくない事業を行なう為に、今年度から周年事業に向けた取り組みをさせて頂いておりますので、その際には是非ご協力頂けたら幸いです。また私事です。貴クラブ市村会員のご子息様と自身の息子が同級生であり、50周年の際には市村様がお来賓としてご臨席頂き、10周年の際には市村様のお父様が来賓としてご臨席頂いており、深い縁を感じております。本年度長井会長の会長所信の中で、自分を助ける手・他者を助ける手の事が書かれておりましたが、正に他者を助ける手で地域社会のお役に立てるような奉仕



活動をしていきたいと思っております。そして活動が地域に対してのオピニオンリーダーの役割を果たしつつクラブの繁栄をしていきたいと思っております。

東京東村山RC 会長 山本智治 様

東村山は立川RC様の子クラブとして誕生させて頂き本年53年目となりましたが、まだまだ未熟で、会員も30名という少人数で何とか頑張っておりますが、これからも貴クラブ諸先輩方のお力添えを頂き、あと7年ありますが、60周年を迎えたいと思っております。本年度は若い会員も入会して参りますので、勉強の為に貴クラブにメイクアップでも訪問させて頂くと思っておりますので、その際は是非宜しくお願い申し上げます。



【幹事報告】 中山賢一 幹事

●ロータリーの友7月号をメールボックスに配布。7月R情報の時間無し。●米山記念奨学会から「ハイライトよねやま」が到着済。●7月18日(木)立川姉妹市委員会の歓送迎会がセレス立川で開催●7月24日(水)創立60周年記念式典準備委員会の炉辺開催予定。会長・幹事出席予定。●7月25日(木)東京昭島ロータリークラブ例会に会長・幹事表敬訪問予定。●7月31日(水)クラブ会報委員会炉辺、開催予定。●7月26日(金)は納涼家族例会で、14:00パレスホテル出発予定。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 安藤永一 副委員長

- 東京八王子RC 会長 大蔵健司 様 本日はご挨拶に参りました。60周年おめでとうございます。宜しくお願い致します。
- 東京府中RC 会長 篠原 定 様、幹事 根守克彰 様 長井会長、中山幹事、新年度のスタートおめでとうございます。一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。
- 長井 守 会長 ゲストの皆様のご来訪を心より歓迎致します。織原国際奉仕委員長、小松青少年奉仕委員長、益子クラブ奉仕委員長、本日発表宜しくお願いします。
- 中山賢一 幹事 ゲストの皆様、本日のご来訪誠に有難うございます。国際奉仕織原委員長、青少年奉仕小松委員長、クラブ奉仕益子委員長、本日は発表宜しくお願い致します。
- 伊藤平八朗さん 松浦職業奉仕委員長、田中太社会奉仕委員長、先週の委員会所信は大変素晴らしい発表でした。恐れ入りました。
- 布施 明さん 食祭祭は、大盛況の内に終了しました。鈴木 寛さん、木村真人さん、出演有難うございました。また来場の皆様も、有難うございました。
- 杉森 創さん 皆様のお蔭で、7月16日に緑町、壽屋ビル1Fに琉球坊主立川北口店を無事オープンする事が出来ました。有難うございます。今後共どうか宜しくお願い申し上げます。

本日合計 61,000円 本年度累計 438,000円

立川・サンバーナディノ 姉妹市委員会 日帰り旅行

7月6日(土)立川・サンバーナディノ姉妹市委員会を支援する六団体は、サン市交換学生、立川市派遣高校生、里親を浅草周辺の見学に招待致しました。

浅草・雷門にて記念撮影



五大委員会所信発表

ロータリーは様々な活動をしておりますが、そもそもその目的・目標とはどこにあるかの間にはこう表現されています。「ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。」これらの推進に五大奉仕をはじめ、ロータリー財団、米山奨学等々、様々な活動を行っておりますが、そのなかの国際奉仕とは、手続要覧には「奉仕の第4部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化、慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動からなるものである。」とあります。

2010年度版手続要覧では6ページにわたって、基本的な考え方含め詳細に記載されていましたが、2013年度版、2016年度版ではかなりシンプルな表現に変更され、他の奉仕部門に関してもシンプルな表現に変更されています。ただ、この文章だけではあまりにも漠然としており、単なる心がけの提示ですので、より活動の目標を立てやすくするために、それまでロータリーが行ってきた様々な奉仕活動を検証、整理して次の6つのターゲットに重点をおいて活動することとしています。①平和の推進 ②疾病との闘い ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤教育の支援 ⑥地元経済の成長

日本に暮らす私たちには、各地での紛争や疾病に苦しむ人々、低い衛生環境に置かれている人々が多数存在するなど世界では切迫した問題が山積みとなっている現状を、情報として知ってはいても、肌感覚で理解することが困難ですが、ロータリアンである私たちは単なる傍観者ではなく、自ら行動する責任が有り、また、奉仕の手を差し伸べるべきとされています。そこで本年度の国際奉仕委員会の活動計画ですが、6つのターゲットのうちのひとつ「教育の支援」、そして、会長所信でもSDGs(持続可能な開発目標)17の目標と169のターゲットに取組もうと掲げられていることから、17の目標のうち日本が達成されていると評価されている唯一の目標、「質の高い教育をみんなに」に注力して活動して参ります。これまでも取組んで参りました、モンゴル共和国の新モンゴル学園に本の寄贈を行います。この事業に関しては会友の宮田修さんに多大なるご協力を頂いております。宮田さんの話によれば、日本に留学する学生が一様に驚くのは、図書館の蔵書の多さだそうです。逆に宮田さんが驚くのはモンゴルの学校の図書館の貧弱さだそうです。宮田さんが初めて行った15年前には本屋は無く、道端に古本を並べた野外の本屋だけだったそうです。近年は出版業界も成長してきているようですが、まだまだ発展途上で、図書館の蔵書はいまだ貧弱の様です。日本では子どもの本離れが叫ばれていますが、モンゴルでは放課後の図書館は子ども達が大変賑わっているそうで、本を読むことに飢えているそうです。そこで、本年度は地区のロータリー財団の補助金を活用し、60周年にちなみクラブ予算と合算し60万円分の本の寄贈を記念事業として遂行します。補助金に関しては、4月下旬に利用の申請を行い、既に承認を得ております。クラブに振込があり次第実行致します。ちなみに昨日開催された、ロータリー財団の補助金に関するセミナーに参加して参りました。申請の承認を受けた61件のうち、海外での実施を予定しているのは11件で、モンゴルでの実施は当クラブだけでした。

次に立川・サンバーナディノ姉妹市委員会の活動を支援致します。姉妹市委員会は民間による交換学生制度を東京都で初めて行った団体で、本年度60周年を迎えております。既にご存知の通り、6月23日よりサンバーナディノ市より4名の派遣高校生が来日しており、7月6日には支援6団体の一日旅行で浅草に私と清水副委員長とで参加して参りました。昨日にはセレス立川にて歓送会が開催され、里親の皆さんのご苦勞の下、4名の派遣高校生、里親家族ともに大変貴重な1ヶ月であったとの報告がありました。今後は立川から4名の派遣高校生がサンバーナディノ市に旅立ちます。帰国報告会は8月30日の例会にて行います。一回り大きくなった子ども達の報告を期待したいと思います。また、10月19日(土)18:00～、パレスホテル立川にて60周年記念式典が開催されます。詳細につきましては改めてご案内致します。

その他ロータリー財団、米山奨学委員会活動への支援や、海外諸国の自然災害があった際には義捐活動等も行いますので、ご協力をお願い致します。その他、必要と思われる事がありましたら、その都度取り入れながら一年間活動して参ります。

国際奉仕委員会 織原寛一郎 委員長

〈メンバー紹介〉副委員長: 清水督司さん

委員: 安藤明義さん

高津康樹さん

田中清次郎さん

中島孝昌さん



当日出席の国際奉仕委員会メンバーの皆様

青少年奉仕委員会 小松 剛 委員長

〈メンバー紹介〉副委員長: 三浦 哲さん

委員: 齊藤直人さん

渋谷幹夫さん

利根川智さん

村上寿之さん



クラブ定款では年間の事業を組み立てる上で、奉仕の第五部門である青少年奉仕は「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む、交換プログラムを通じて青少年並びに若者によって、好ましい変化をもたらせることを認識するものである」とあります。

自身としては非常に難しいなという気持ちと、壮大な事を事業にするよりは、身近な事から始めることで活動が分かり易くなると思っています。

本年度の青少年奉仕委員会は4つの柱から事業を行って参ります。1つ目は我が委員会の最大ミッションである、チャリティークリスマスコンサートの開催です。今回で第49回目の開催となり、立川クラブが担当させて頂きます。開催日は、12月24日のクリスマスイブという事もあり、しっかり動員すべく策を練っている所です。航空

音楽隊の皆様には選曲も含め素晴らしい演奏をしてもらえと思いますが、参加される地域の方々、特に青少年にロータリーの奉仕の理想とロータリークラブの活動を認識してもらえ様、開会の冒頭で60周年PRも含め映像を流そうと考えております。チャリティをお渡しする団体につきましては、数箇所の中から検討をしたいと考えております。

続いてインターンシップに関して、地区からの要請があれば検討しておりますが、例年のように、都立第五商業高等学校からの要請があれば、会員の皆様にご協力をお願いしたと思っております。

次に会長所信にも触れておりますが、文部科学省と厚生労働省の調査では、昨年の大学生卒業の就職率は98.0%だそうです。1997年の調査開始以来、過去最高を3年連続で更新しており、高校生に至っては98.1%と8年連続で改善されました。文部科学省は「景気の回復基調が続き、企業の採用意欲が高まっている」と分析しています。そんな中、せっかく就職したのに大卒3年以内の離職率は32.2%、高校生は40.8%で10人に3人が辞めるとい現実も調査の中であり、離職理由は様々ですが主には「精神面が弱いところ」、「受動的なところ」、「コミュニケーション能力が低いところ」なども理由の一つだと考えられますが、ネガティブなものばかりでもないようです。自分自身のキャリアアップの為に可能性を探りたいなどもございます。そこで、来年就職活動をする若者に呼びかけをし、ただ内定した企業に思いもなく就職するといった事ではなく、2015年に国連で採択されましたSDGsを積極的に推進している企業を何社かピックアップし、紹介しながら、自分の仕事に誇りを持ち、仕事を通じて職業奉仕を身につけ、また自分の中にある社会に貢献するというSDGsの17の目標の中から自分に合った企業にターゲットにして頂くことで、強い思いを持っての中で就職活動をと考えています。今年娘が大学4年で、ついこの間内定が決まったようですが、何故その会社を選んだのか聞きたく思いながら聞きそびれております。これは、我々青少年奉仕委員会だけでは成し得ない部分もありますので、田中委員長率います、社会奉仕委員会にご理解を頂き、共催という形で取組みたいと思っております。

4つ目は木村真人副幹事が地区に出向しておりますロータリー青少年指導者育成プログラム RYLAです。「ロータリー ユース リーダーシップ アワード」の略で、本年度は10月12日～14日の3日間で開催予定です。RYLAはどんな内容で受講者が成果をあげるのかですが、「リーダーシップのスキルと人格を養う」「多様な事柄について学び、様々な人と出会う」「地域社会で積極的に活動するリーダーと出会う」「貴重な情報とキャリアのスキルを身につける」この他楽しみながら友情を培い、生涯にとって受講した方が財産となるセミナーになっています。この事業を、木村真人副幹事のご協力を通じて、地区のRYLA委員会のご指導ご協力を頂き、2月辺りに立川クラブの会員企業の社員を対象にしたRYLA立川版を開催したいと考えています。このセミナーには、SDGsの17の目標も取り入れ、紹介する事により、自分の会社で出来る事を考えてもらえる場としたいとも思っています。各企業の社長様が方向性選択するだけではなく、社員さんからSDGsの17の目標の中から出来ること。という提案が生まれれば更なる強い企業になるのではないかと思います。

いずれにしても、五大委員会のそれぞれの与えられたミッションはありますが、それぞれが協力する事により、新しい形の事業ができるのではないかと考えています。



当日出席の青少年奉仕委員会メンバーの皆様

クラブ奉仕委員会 益子悦雄 委員長

〈クラブ奉仕委員会の構成メンバー〉

Aブロック

会員増強・分類委員会: 宇都木健太 委員長

会員選考委員会: 鈴木祐祐 委員長

ロータリー情報・雑誌委員会: 尾内昭夫 委員長

Bブロック

クラブ会報委員会: 宮崎昭人 委員長

広報委員会: 津田宣秋 委員長

Cブロック

出席委員会: 渡辺博昭 委員長

親睦委員会: 古屋佳男 委員長

プログラム委員会: 山下隆仁 委員長

SAA委員会: 鈴木 誠 委員長

以上3ブロック9委員会



ロータリークラブの目的とは何でしょうか。これは定款に明確に記載されています。「意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」とあります。そして具体的な内容として①知りあいを広めることによって奉仕の機会とする。これがクラブ奉仕 ②職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、各自の職業を高潔なものにするにと。これが職業奉仕の日々の事業においても、生活においても奉仕の理想を実践すること。これが社会奉仕の奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。これが国際奉仕となります。2010年までは四大奉仕といわれておりましたが、2010年の規定審議会において五番目の奉仕として青少年奉仕が追加されて、現在では五大奉仕がロータリーの目的となっております。

今年度は、120人クラブを達成することを会長所信で目標に掲げております。そんなに会員を増やさなくてもいいのではという意見もありますが、ロータリークラブの目的に、「知りあいを広めることによって奉仕の機会とする。」とありますので会員数の増強は私たちロータリークラブの大切な目的になります。またI serve We serveという考え方がありますが、私たちロータリークラブはI serve です。私は知りあいを広めて奉仕します。一職業において高い倫理基準を保ち奉仕します。私は社会に奉仕します。私は世界平和・国際社会に奉仕します。私は未来を担う青少年の為に奉仕します。ということだと理解しております。そして私が担当致しますのが奉仕の第一部門であるクラブ奉仕となります。

クラブ奉仕委委員会では9委員会の諸活動全部に対して責任を持ち、監督、調整をして参ります。長井会長の所信に沿った事業がスムーズに進んでいくように監督・調整を行い、60周年は良い年だったと振り返ることが出来るよう各委員会事業の助言・監督・調整をして参ります。具体的にはクラブ奉仕委員会に所属する委員会の炉辺会合には出来るだけ積極的に参加し、多角的な視点で意見が言えるようにしたいと考えます。また今年度の私は、会長ノミニーという役職も兼務しております。クラブ細則によると、ノミニーは「次次年度会長としての任務の準備をすること」となっております。次次年度会長となるための準備の年として、出来るだけ多くのことを皆様から教えて頂き、学んで、吸収する年にしたいと考えています。